

YAMAHA

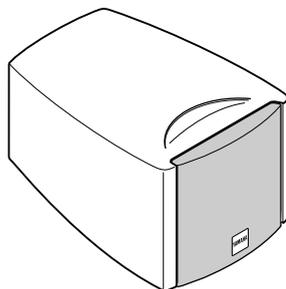
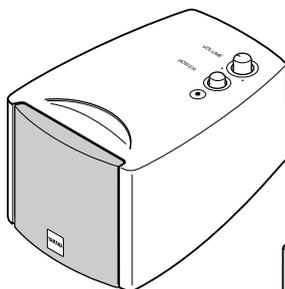
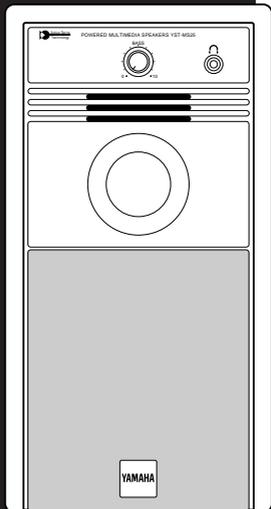
POWERED MULTIMEDIA SPEAKER SYSTEM

YST-MS25



このたびはヤマハYST-MS25パワードマルチメディアスピーカーシステムをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

ヤマハアクティブサーボテクノロジーによるすぐれたサウンドを存分にお楽しみください。



ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。

取扱説明書

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△ 記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



⊘	本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。	⚠	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
⊘	本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続したり、表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。	⚠ ●	万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
⊘	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。	⚠ ●	万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
⊘	風呂場で使用しないでください。火災・感電の原因となります。	⚠ ●	万一、本機を落としたり、損傷した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
⊘	本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。		
⊘	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。		



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。		接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。		電源プラグを接続する前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。		キャビネットをあけたり 分解しないでください。故障の原因になります。修理が必要な場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。		旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。		1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。		
	移動させる場合は、本機のPOWERスイッチを切ってから電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

ご使用上の注意

ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

コントロールのつまみ類に無理な力を加えたり、キャビネットに重い物をのせないでください。テストディスクや電子楽器の信号、極端に歪んだ信号を大きな音で鳴らさないでください。スピーカの破損の原因となります。

本機は防磁設計となっていますがコンピュータのモニターやテレビの近くに設置すると、画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。

故障と思われるときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気媒体を近くに置かないでください。データが破損することがあります。

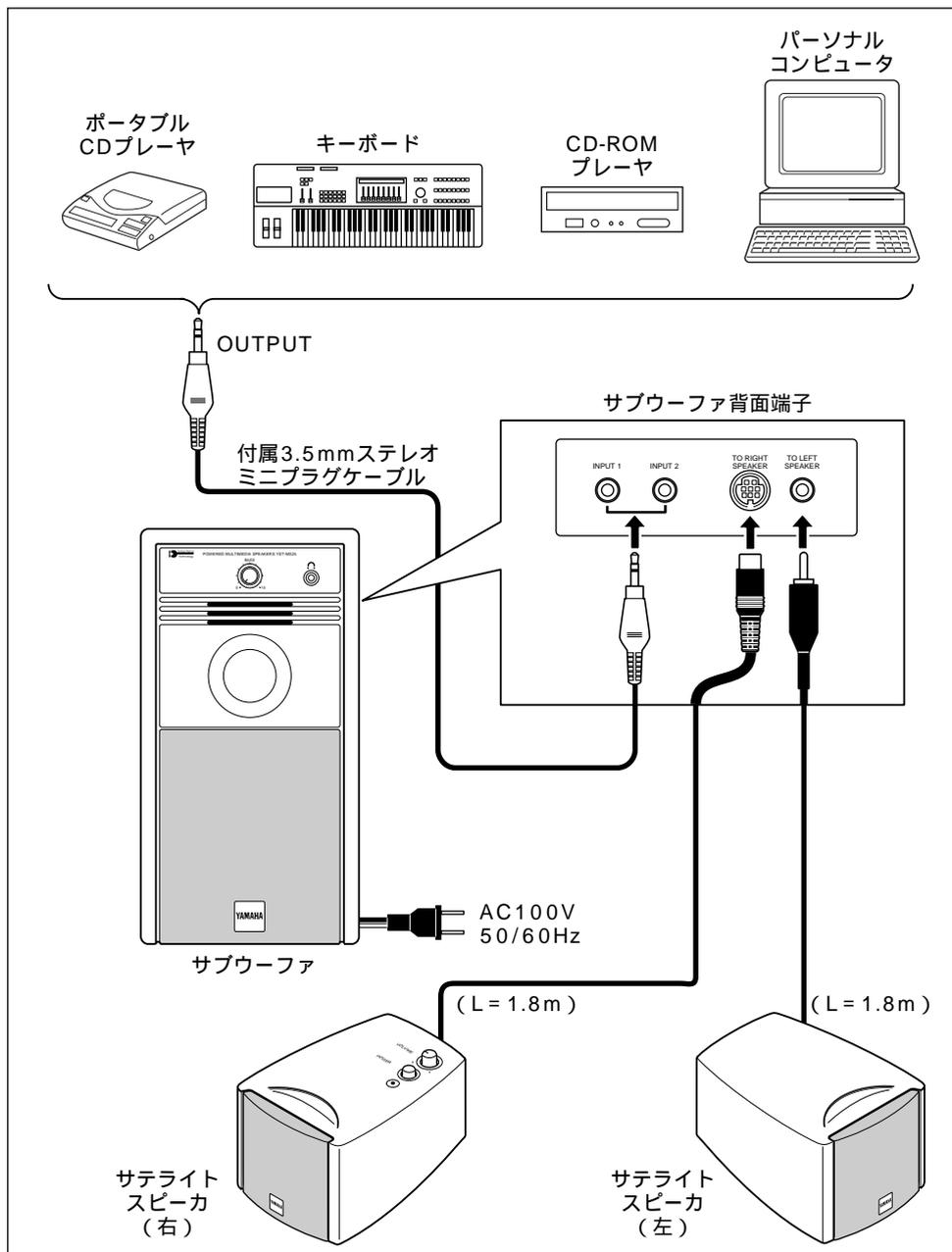
サブウーファにはポート(正面の穴)が設けてあります。ポートには絶対に物を入れないでください。また移動する際、ポートに手を掛けないでください。故障の原因になります。

サテライトスピーカをパソコンモニターの上に載せて使用すると落下する危険性がありますので、必ず付属のモニターブラケットを使用してください。

接続例

接続は必ず各機器の電源を切ってから行ってください。

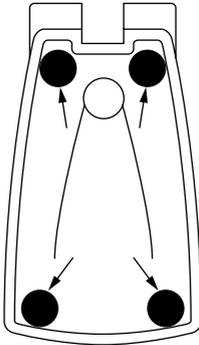
接続する機器の取扱説明書もお読みください。



レッグ

図のようにサテライトスピーカの底面に付属のレッグを取り付けてください。スピーカがすべりにくくなり安定します。

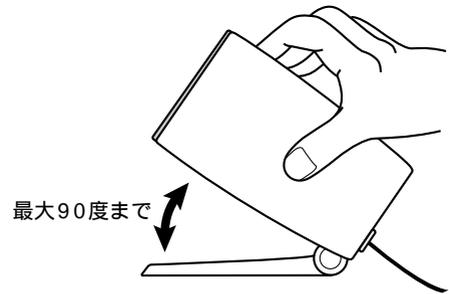
安定した平らな面に設置して使用してください。



角度調整

図のようにサテライトスピーカは水平から90度以内の角度調整が可能です。

設置状態が安定する範囲内で好みの位置に調整してください。



パソコンモニターへのマウント

付属のモニターマウントブラケットを使い、サテライトスピーカをパソコンのモニターに取り付けることができます。

【取付手順】

接着面にゴミや汚れがないようにきれいにしてから取り付けてください。

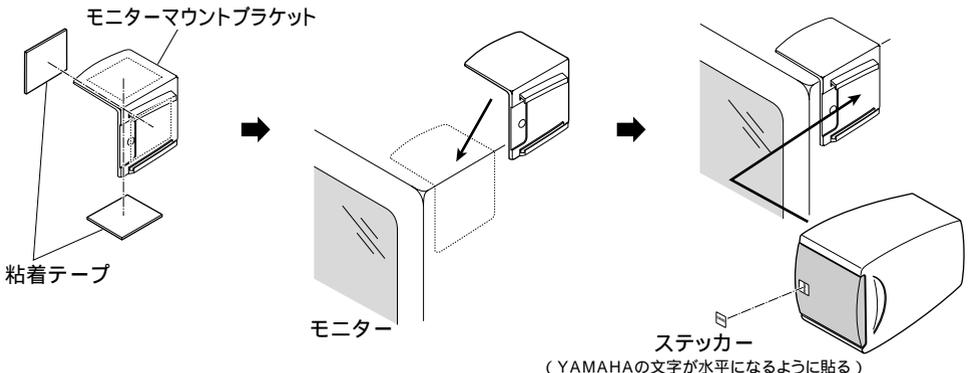
付属の粘着テープをモニターマウントブラケットに貼り付けます。

モニターマウントブラケットをモニターに貼り付けます。

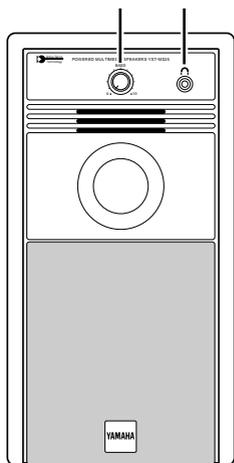
モニターマウントブラケットには右左があります。Lがモニターに向かって左側、Rが右側です。

サテライトスピーカをモニターマウントブラケットの前方からスライドさせて取り付けます。

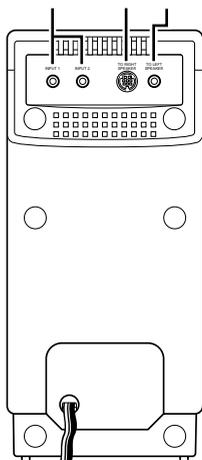
付属のYAMAHAステッカーをサテライトスピーカのYAMAHAマークの上に貼り付けます。



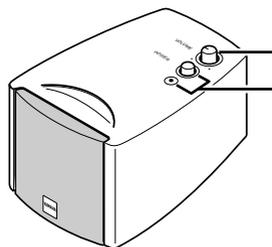
各部の名称と機能



サブウーファ前面



サブウーファ背面



サテライトスピーカ
(右)

バス(ベース)

BASSコントロール

サブウーファの音量を調整します。

音量はお好みにより調整できますが、通常は、11時～12時の位置で使用することをお奨めします。

右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

ヘッドホン

ステレオヘッドホンでモニターするときに接続します。

ヘッドホンを接続すると、スピーカから音は出なくなります。

インプット

INPUT 1/2

スピーカシステムへ信号を入力します。

1と2の端子に同時に接続することにより、2系統の信号を入力することができます。たとえば、CD-ROMプレーヤとパソコン本体の出力をそれぞれ入力端子に接続できます。ただし、信号はミックスされます。

トップ ライト スピーカ

TO RIGHT SPEAKER

サテライトスピーカ(右)を接続します。

トップ レフト スピーカ

TO LEFT SPEAKER

サテライトスピーカ(左)を接続します。

ボリューム

VOLUMEコントロール

スピーカシステム全体の音量を調整します。

右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

パワー

POWERスイッチ/インジケーター

スイッチを押すと電源が入り、インジケーターが点灯します。もう一度スイッチを押すと電源が切れます。

故障かなと思ったら

下の表に従ってもう一度確かめてみてください。そのうえで正常に動作しないあるいは下記以外の何か異常が認められる場合は、本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお問い合わせの上サービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。 POWER(電源)スイッチが入っていない。 接続が正しくされていない。 (または接触が不完全。) VOLUME(音量)が最小になっている。 入力信号が小さすぎる。 ヘッドホンを接続している。	電源プラグをしっかりコンセントに差し込む。 POWERスイッチを押す。(インジケータが点灯。) 接続を確認する。または別のコードを使ってみる。 VOLUMEコントロールを右に回して音量を上げる。 接続した機器の音量を上げる。 ヘッドホンを抜く。
音が割れる。	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
ノイズが出る。	接続が正しくされていない。 (または接触が不完全。)	接続を確認する。または別のコードを使ってみる。
電源ON時にノイズが出る。	本機の電源コードがアンプなどのSWITCHED AC OUTLETに接続されている。	UNSWITCHED AC OUTLETに接続し直す。その後、本機のPOWERスイッチをON/OFFして電源が入/切できるか確認する。

保証とアフターサービス

保証期間は、お買い上げの日から1年です。

故障のときはすぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をお申しつけください。

その際、必ずサテライトスピーカ・サブウーファ両方を合わせてお持ちください。

ご転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理を依頼できないときは、弊社電気音響製品サービス拠点にご相談ください。

修理、アフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げの販売店または弊社電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

仕様

タイプ	アクティブサーボテクノロジー方式
出力	
サテライトスピーカ/サブウーファ	5 W + 5 W(1 kHz、4% T.H.D.) / 15 W(100 Hz、4% T.H.D.)
入力感度	200 mV(1 kHz、5 W / 4%)
入力インピーダンス	10 k
再生周波数帯域	40 Hz ~ 20 kHz
スピーカユニット	
サテライトスピーカ/サブウーファ	5 cmコーンタイプ、防磁型 / 12 cmコーンタイプ、防磁型
サブウーファ入力端子	3.5 mmステレオミニジャック × 2
サブウーファ出力端子	RCAピンジャック(左サテライトスピーカ) ミニDINジャック(8P)(右サテライトスピーカ)
定格電源電圧	AC100 V、50/60 Hz
定格消費電力	30 W
寸法(幅 × 高さ × 奥行き)	
サテライトスピーカ/サブウーファ	80 × 70 × 120 mm / 148 × 283 × 210 mm
重量	
サテライトスピーカ/サブウーファ	0.35 kg × 2 / 4 kg
付属品	3.5 mmステレオミニプラグケーブル(1.8 m) × 1、モニターマウントブラケット × 2、レッグ × 8、YAMAHAステッカー × 2、粘着テープ × 4

仕様は予告なく変更することがあります。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持込窓口

北海道 〒064-0810 札幌市中央区南十条西1-1-50

ヤマハセンター内

Te(011)512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7

仙台卸商共同配送センター3F

Te(022)236-0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184

Te(044)434-3100

東京 (お持込修理のみお取扱い)

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

Te(03)5488-6625

浜松 〒435-0048 浜松市上西町911

ヤマハ(株)宮竹工場内

Te(053)465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中原区玉川町2-1-2

ヤマハ(株)名古屋流通センター3F

Te(052)652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16

ヤマハ(株)千里丘センター内

Te(06)877-5262

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7

(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内

Te(0878)22-3045

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14

Te(082)874-3787

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-1-14

Te(092)472-2134

お客様ご相談センター

(ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口)

TEL(03)5488-5500

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 Te(053)460-3451

品質保証室 Te(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA